

## 『サイラス・マーナー』の英語教科書出版に際して

エリオット小説の英語教科書出版事業の一環として『サイラス・マーナー』教科書は、日本ジョージ・エリオット協会二十周年記念事業として企画されました。協会としてはエリオット小説を大学英語教科書として提供するに当たっては、当節の大学英語教育を取り巻く状況を慎重に勘案したうえで判断しました。ご存じのように、英語教科書出版業界と大学では実用的な英語教材への掛け声が鳴り響いています。コミュニケーションの手段としての英語の要請は否定すべくもありません。しかし、振り子が実用的な英語の強調に極端に振れて、豊かな英語を、辞書を引きつつ、じっくりと読み解き、音読し、対話し、これによって異文化理解を深める観点はないがしろにされている嫌いがないとも言いきれません。そのような趨勢に流されることなく、大学の英語教育が本来もつべき多彩な役割を果たすことが、今こそ肝要であると考えます。

この教科書を吟味していただければ、エリオットの英語の端正さと豊かさを、改めてご理解いただけるのではないかと存じます。抜粋された部分は、小説の基本的テーマを損なわず、しかも大学生にも理解し得る素材になるよう、注意深く選りすぐられ、注にも細心の注意が払われています。エリオットの英語は、とりわけ、文脈を外してはその豊かさが味わえませんので、省略された部分のあらすじ説明と、取り上げられた部分の主旨説明は入念に行われています。作家の業績の概観も含めて、全体としては心血を注いだ教科書になっていると自負しています。

本書は教養英語教科書としてばかりではなく、専門教育における文化・文学教育の素材としても活用できるものと期待しております。設問などをご利用になったり、あるいは、教員の裁量に従って、音読練習やエッセー課題などを自由に課したりすることができるように配慮されています。それぞれに創意工夫をされてお使いいただければ幸いです。

本書の今後の行方を見守りつつ、『サイラス・マーナー』に続く英語教科書として、私どもは『フロス河の水車場』の教科書出版を検討しています。この企画が大学英語教育の趨勢に一石を投じるきっかけになればと念じています。人間教育の一環として大学英語教育に携わっておられる皆様のご理解とご愛顧を切にお願い申し上げます。

2018年3月31日

会長 福永信哲 副会長 大嶋浩 田中淑子  
顧問 植松みどり 内田能嗣 海老根宏